



SAT

だより

NO.96

SKI ASSOCIATION OF TOKYO

発行 (一財) 東京都スキー連盟
〒102-0093 千代田区平河町 1-4-15
平河町小池ビル 2F
TEL 03-3262-2491 (代)

発行日 2025 (R7).6.17
編集 SATだより編集委員会
印刷 株式会社リョーワ印刷



2025 シーズンを終えて



一般財団法人 東京都スキー連盟
会長 達下 系一

(一財) 東京都スキー連盟会員の皆様こんにちは。

24, 25 シーズンは順調に降雪があり、スムーズなシーズンインができたいいシーズンだったと思います。この数年シーズン初めの積雪が少なくどこのスキー場も正月が心配な状況でしたが、今年はその心配もなく安心してスキーができるということを実感したシーズンでした。おかげさまでスキー連盟としまして中止の行事などもなく順調にすべての行事を実施することができました。これはひとえに会員の皆様のご参加と現場の専門員の方々の運営の賜物と思います。本当にありがとうございました。また、お疲れ様でした。そんな中で今シーズンの競技、教育の大会でも優秀な成績を収められた方がいらっしゃいますのでここでご紹介させていただきます。

(競技本部)

*選手の敬称は省略させていただきます。

国民スポーツ大会

G S 成年女子 6 位 石渡 実香

全国中学校スキー大会

G S 1 位 小熊 健祐
2 位 野崎 日向
6 位 紅林 涼雅

JOC ジュニアオリンピックカップ

K 1 S L 男子 5 位 大石 真太郎
K 1 S L 女子 2 位 古澤 亜侑
K 1 G S 女子 6 位 古澤 亜侑
K 2 S L 男子 1 位 小熊 健祐

K 2 S L 男子 4 位 紅林 涼雅
K 2 S L 女子 3 位 関川 翠桜
K 2 G S 女子 3 位 野崎 日向
K 2 G S 女子 6 位 関川 翠桜

このように競技本部では地道な育成強化の成果が出てきています。

(教育本部)

*選手の敬称は省略させていただきます。

全日本スキー技術選手権大会

男子総合 5 位 山田 棕喬
女子総合 8 位 野々山 楓絵

全日本スノーボード技術選手権大会

アルペン男子総合 1 位 白川 尊則 2 連覇
フリースタイル女子総合 8 位 河合 美保

スキーデモンストレーター

ナショナルデモ男子 頼光一太郎、森田 昂也
ナショナルデモ女子 太田 好美

SAJ デモ男子 大野 高峰、大山 楽人、
五明 秀晋

SAJ デモ女子 上野 桃子

スノーボードデモンストレーター

白川 尊則

以上の方々が表彰されました。おめでとうございます。この成績の実現には裏方で支えてくれた現場の専門員の方々の苦勞もあります。選手の皆様はもちろん専門員の皆様もあわせてこの栄光を讃えたいと思います。そしてまた来シーズンの健闘を期待しております。スキー連盟では来シーズンに向けて行事の内容を検討しています。ぜひご期待ください。

これまでも、そして、これからも もうすぐ 100 年！

菅平高原スノーリゾート

Since 1927



日本百名山「四阿山」 花の百名山「根子岳」を望む



一般社団法人

菅平高原観光協会・菅平旅客索道協会・菅平高原旅館組合

<https://sugadaira.com> E-mail info@sugadaira.com

〒386-2204 長野県上田市菅平高原 TEL.0268-74-2003 FAX.0268-74-2353



第63回 東京都スキー選手権大会

2025年1月10日（金）～12日（日） 菅平高原パインビーク

東京都スキー選手権大会は表記の日程で菅平高原パインビークオオマツ公認チャンピオンコースで行われました。1日目はSL（回転）競技でエントリー数は女子27名、男子111名、合計138名でした。天気は快晴に近い晴れでしたが朝7時の気温はマイナス14℃、雪面は菅平スキー場特有の締まった硬い斜面に59旗門・58ターンがセッティングされました。

朝8時から女子インスペクションが開始され、順次 男子インスペクションが行なわれ、女子の前走スタートは9時より競技は開始されました。

このたびの「SAT だより」取材では競技本部スタッフの行動もつぶさにお伝えすべく密着取材を行いました。ひとつの競技会を行うためには55名程のスタッフに加え会場、器材、医事、圧雪車などパトロール隊の関わりが不可欠です。

前夜10日の20時より国際リゾートセンターで開会式およびTCM（チームキャプテンミーティング）とビブ配布がありましたが、翌日の5時30分起床、6時に朝食、7時にはゲレンデ集合と、まだ夜が明けない暗い内から準備が始まります。朝8時にインスペクションを開始するには、最低でも7時からコース旗門セットを行う必要性を感じました。競技本部のスタッフに聞いたところ「選手には、雪の緩まない最高の条件で競技に臨んでいただきたい」とのことでした。

SL競技は女子部から始まり男子と続き、2回目インスペクションが10時30分から開始され男子2本目が12時40分に終了しました。女子表彰式は12時15分に、男子表彰式は13時15分に行われました。

競技終了後の後かたづけも早々に宿に到着、本日の反省と明日の競技打合せ、17時から国際リゾートセンターで開始される選手会への出席でスタッフの忙しさを感じます。

2日目、スタッフは朝から余念がありません。前日同様 早朝からの準備が始まります。天候は曇ですが7時の気温はマイナス12℃、昨日よりは暖かいとのことですが…、超寒い。

29旗門・28ターンがセッティングされたGSL（大回転）競技です。エントリー数は女子45名、男子164名、合計209名とのことです。

前日のSL競技と比べ、男女とも参加者が多い。翌日に行われる猪谷杯の国民スポーツ大会（旧名称：国民体育大会）を意識してのことなののでしょうか。しかし、「東京都スキー選手権大会」は、その名の通り優勝者は「東京都で一番」という名誉を掛けた競技であり、参加選手たちの本気度が感じ取れる素晴らしい大会でした。





第13回 猪谷杯大回転競技会 兼 第79回 国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会東京大会

2025年1月12日(日)～13日(月祝) 菅平高原パインビーク

13日の猪谷杯当日は、雪のチラつく朝を迎えました。前日の選手会会場の国際リゾートセンターでも時々激しく降り積もるほどの降雪もありました。開会式は17時に開始され猪谷千春名誉会長も出席され、お言葉をいただきました。続いて猪谷氏立ち合いのもと、選手宣誓が行われました。

猪谷氏は、1956年コルチナ・ダンベッツォ冬季オリンピックの男子回転で銀メダルの栄に輝き現在まで、その記録は破られておらず日本人唯一のアルペンスキーオリンピックメダリストです。メダル獲得から70年程が過ぎ、その節目にNHKテレビが猪谷氏の密着取材を行っておりました。当然、開会式にも…、翌日のゲレンデにも…、その後TMC、ゼッケン配布と続き18時閉会となりました。

夕食後、明日の猪谷杯大回転競技会の準備や打合せでスタッフ達には余念がありません。当日、雪がちらつく朝の気温はマイナス6℃で前2日間と比べると暖かいはずですが、ドンヨリとした空模様には寒さを感じます。時々、激しく雪が降りましたが旗門セッティング時の斜面は固く締った状態でコンディション抜群に感じられました。

選手にとって、この競技会は2月に秋田で行われる「国民スポーツ大会」の東京都代表選手に選ばれるか否かの大切な意味を含んだものです。そのため、男女ともインスペクションでの旗門や斜面の状況把握にも余念がありません。

競技は標高差182m、29旗門・28ターンで、旗門は2回セットされ、セット1では女子B・女子A・女子少年・男子Cの各グループ計104名が、セット2では男子B・男子A・男子少年の各グループ計65名が、合計169名のエントリーで行われました。猪谷杯のミニチュアカップは各部門のラップを取った選手に贈呈されます。

競技はスムーズに、そして表彰式も行われ昼12時過ぎには全て終了いたしました。

14時、国際リゾートセンターで国民スポーツ大会 東京都代表選手24名の受付手続きが行われました。達下会長の挨拶に続き、山崎競技本部長から詳細説明がありましたが、どの選手も競技に取り組んでいる表情とは違い笑顔で手続きをしている様子が印象に残りました。

3日間を通しての都連競技本部大会関係者の方々には前もっての準備も勿論ですが現場での対応をつぶさに、そしてスムーズに行い選手のストレスを最小限に止める役目を担っていることを取材を通して知ることができました。SATだより取材にご協力いただきありがとうございました。なお、NHKテレビの猪谷氏密着取材は2月初旬に放映されました。



SUGADAIRA KOGEN SNOW RESORT
菅平高原スノーリゾート
2025-2026 SEASON

日本一
滑りやすい

スキー場宣言

2025

11月OPEN

40歳以上のための スキー技術戦大会！



足自慢のSkierの
ご参加！
お待ちしております。



SKI DEMO
HAKUBA IWATAKE



12月エントリー開始↓



**第6回
全日本マスターズ
スキー技術選手権大会
2026.1.30(金)～2.01(日)**



第46回 東京都スキー技術選手権大会&2025東京都スノーボード技術選手権大会 兼 全日本選手権大会出場者選考会

2024年1月27日(土)～28日(日) 高峰マウンテンパーク

スキー女子

- 1位 野々山 颯絵 [ヘッドスキークラブ]
- 2位 太田 好美 [日建総業スキークラブ]
- 3位 川端 佑沙 [ハルスポーツ]



スキー男子

- 1位 山田 棕喬 [ヘッドスキークラブ]
- 2位 頼光 一太郎 [八王子スキー連盟]
- 3位 松本 聖 [デサントスキーチーム]



スノーボード女子

- 1位 小川 咲 [国士舘大学基礎スキークラブ]
- 2位 永野 理奈 [野獣会スノーボードクラブ]



スノーボード男子

- 1位 青木 玲 [ラスカルスキークラブ]
- 2位 白川 裕則 [ヨネックス]
- 3位 藤原 秀隆 [野獣会スノーボードクラブ]



今年も、高峰マウンテンパーク（旧アサマ2000パーク）にて開催。昨年よりは暖かく、それでも高峰らしくしまったコースに朝早くから多くの選手、応援団が集まりました。

優勝を目指す選手、リベンジを誓う選手、昨年よりも高い得点を目指す選手、親子で参加する選手、様々な選手が自分の目標に向かって集中する姿は何度見ても感動します。都連トップクラスのジャッジ陣による得点に選手だけでなく、応援団、観客もドキドキわくわくした2日間でした。

昨年に引き続き、小諸市、佐久市の方々に、やきとり、地酒紹介、スキーグッズの激安販売など、お祭り気分で盛り上げていただきました。ここではみんなリラックスした笑顔でした。



焼き鳥食べたらみんなこの笑顔



今年もありがとうございました

技術選をおえて

石原 千宏 さん 親子インタビュー

親子で出場のいきさつは、単純に私がまた出場したかったからです。私もかつてスキーに魅せられて新潟に移住しスキーインストラクターをしながら全日本技術選出場を目指していました。ちょうど20年前の2005年東京都スキー技術選、私は13位でした。にもかかわらず3日目の選考会で失敗をして全日本出場の夢が叶いませんでした。スキーインストラクター生活を引退して13年。仕事、子育て、その間のファミリースキーを楽しみながらも、ずっと技術選に「またいつか出場したい!」そして叶うなら、「いつか子供と一緒に出場できれば最高だな」と、そのチャンスをずっとうかがいながら、たくらんでいました(笑)。わが家のファミリースキーも徐々にエスカレートして、やがて親子部活の様になり、今シーズンは息子(小6)、娘(中3)共にクラウンを取得したので、そのチャンスが到来し、息子と娘を誘い親子出場の夢が叶いました。



＊

息子の感想「全種目240点以上を目標にしていた為、230点台までしか出なかったのが残念だったが、全日本で活躍している現役の選手の滑りを間近で見ることができたのは大きな刺激になった。大会後、全日本ジュニアを含め5月までしっかり滑り込んで、上達できたと思うので、来シーズンは決勝進出を目標にしたいと思う。」

＊



4歳と7歳の頃

娘の感想「父に誘われた時は、私レベルの中学生が参加したら場違いなのではないか、と不安でしたが、出場してみると、中学生や高校生の上手な選手もいて刺激になったし、何よりもいつもDVDで見ている有名な選手達と同じ舞台上で自分も戦えていることにすごく感動をおぼえました」

＊

私は点数も全然出なくて種目別では息子にも負ける始末(泣)順位も全然でしたが、心地よい緊張と高揚感の中、思いっきり滑ることができ、すごく楽しかったです。20年前の落とし物を親子出場という違った形で取り戻せた気がします。これを機会に子供達に完全敗退するまでは出場していきたいと思っています。素晴らしい大会を運営いただきありがとうございました。



2025 年度 スキー指導者 準指導員検定会

2025 年 3 月 8 日 (土) ～ 9 日 (日) 菅平高原スノーリゾート

今年の準指導員検定会は、申込数 205 名に対して 192 名の受検者で行われた。合格率は 49.7% だった。

「日本スキー教程」が 10 年ぶりに改訂され、変化するスノースポーツの環境に対応した最新の技術理論や指導方法となった。それに伴い検定種目も 8 種目から 6 種目に変更となり、運動要領及び指導要領の深い理解が必要とされる種目に改訂された最初の検定会となった。

またこれまで二日間で行われていた検定会は、午前 3 種目、午後 3 種目と理論に、一日に短縮され合格発表は翌日となった。

これまで受検者は、養成講習会の理論に始まり実技、受検者レベルアップ講習会等のイベントに参加し取り組んできたことが正しかったかどうか評価される場である。

今回は改定された種目の理解と、評価の観点 3 つの基本動作を種目毎に滑りの中で表現し検定員に伝えられるか、特に展開種目ではその習熟度が鍵となった。

合格発表は国際リゾートセンターでサポーターを交えて行われた。それぞれ封書で配られ、開封とともに歓喜に沸きサポーターと喜びを分かち合う等それぞれの表情が見られた。

講評は種目毎に各班長からあり、総評では主任検定員から、全体を通して荷重の不足を感じた。原因として内倒、ローテーションが多くみられた。スキーを思い通りに操れる荷重をしていただきたい。その中で欠席者を除いた合格率は 49.7% とても良く練習出来ていたと思う。合格した方は、教程の内容を生徒さんに伝える事が出来ますという段階です。そこに止まらず更に良い先生を目指して邁進してほしいと話された。

また、B 級検定会も開催され指導員検定を合格された 53 名が受検し準指導員種目別検定に合わせ 3 種目各 20 名の実技検定と理論検定が行われた。規程・規約が改定され検定員不足も改善される、もう一度規程・規約を確認して検定員として公正公平に検定会を実施していただきたいと講評の中で話された。

最後に、安心安全に検定会が行われたことは、初段階から数か月にわたり準備してきた教育本部検定部専門員のスタッフの方々がいるからこそ成り立っていることを忘れてはならない。

感謝！！



パラレルターン小回り不整地



ブルークボーゲン



シュテムターンからベーシック
パラレルターンへの展開



2025 全国 Yukids スノーフェスティバル

2025 年 3 月 15 日 (土) ~ 16 日 (日) 車山高原スキー場

子供たちの元気な声が車山高原スキー場に溢れる。恒例の「全国 Yukids スノーフェスティバル」が曇天の中始まる。今年も多く子ども達が集まってくれた。このイベントで友達となった子ども達も多く、久しぶりの再会を喜ぶ。この時期としては良質で豊富な積雪量は、きっと子供達の日頃の行いが良いのだろう。

今回もスノークロスとスラロームそしてバッヂテストと雪上運動会^{※1}、プログラムが盛り沢山だ。開講式から各コーチは子ども目線で接し、雰囲気盛り上げる。各班に分かれての講習が始まる。どの子も滑りが上手で長い距離もヘッチャラだ。羨ましい。大人になってもスキーを止めないでね。スノークロスでは起伏のあるコースのライン取りが見事。スラロームはバーン位置と講習時間の関係で滑った班は少なかった。

2 日目のジュニアバッヂテストは、前夜の降雪による約 10cm の新雪を指導員研修班と保護者の方々が、子供達が十分にパフォーマンスを発揮できるようにケガをしないように丁寧にコースを整備した。バッヂテストに臆することなく、新雪に負けない力強い滑りが続く。保護者の方々の応援も力が入る。荒天だったのが悔やまれる。

バッヂテストの後はお待ちかねの雪上運動会。コーチ達によるコミカルなデモンストレーションは最高！大人も子供も大笑いだ。手にした景品を見せ合いながら嬉しそうにする子供達の笑顔にスタッフも癒される。レストランに移動し、バッヂテストの発表会で「全国 Yukids スノーフェスティバル」を締めくくる。

来年も元気な姿を見せてね。友達と一緒に来てみんなで盛り上がろう！

やっぱりスキーは楽しい。

※1 ソリを持って斜面を登り、折返してソリで滑り降り、ゴールのコーチとのジャンケンに勝つと景品ゲット



講義



1 級合格発表



開会式



記録と記憶と共に・・

Preserving Achievements

メダル・バッジ・カップ・トロフィー・楯
各種記念品・ノベルティ・雑貨の販売



Since 1908

**SHIBUSAWA
MEDALS**

株式会社 渋澤^{きしょう}徽章製作所

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-8-6
Phone: 03(3264)4238 Fax: 03(3264)4260
E-mail: info@shibusawa-medals.co.jp
<http://www.shibusawa-medals.co.jp>

都心からのアクセス抜群!! 中央自動車道長坂インターより約 20 分
夏も冬も一年中楽しめる高原リゾート「サンメドウズ清里」



夏季営業



冬季営業

営業情報、お得な情報は HP で随時更新中!!



SUN MEADOWS
サンメドウズ清里

スキー場 /
ハイランドパーク

〒407-0311

山梨県北杜市大泉町西井出8240-1

TEL:0551-48-4111

<http://www.sunmeadows.co.jp/>



2025-2026シーズン

STJレンテックは
SNOW SPORTSを楽しむ人を
応援します

STJ

トランシーバー 無線機
STJレンテック

〒105-0022

東京都港区海岸2-2-6 7F

Snow Spirit



0120-984-875

✉ rentinfo@stjg.jp



雪化粧されたホテルの外
観やお庭も幻想的で見ど
ころ抜群です!

★宿泊のお問い合わせは★

ホテルニューダボス

〒386-2204 長野県上田市菅平高原1223-3790

TEL 0268-74-2066 FAX 0268-74-2711

HP <http://www.new-davos.com/>



各種行事会場となる
裏太郎ゲレンデ内のホテルです!
スキー場まで徒歩0分!
東京都スキー連盟のお客様を
大歓迎いたします。



長野県菅平高原の宿

リゾートロッジすずもと

宿泊問い合わせ

〒386-2204 上田市菅平高原1223-5501

TEL0268-74-2110

FAX0268-74-3365

www.sugadaira.ne.jp/~suzumoto

リフト乗り場徒歩4分
スキー場への送迎あり
お風呂24時間入浴可能



全日本優勝



サポート選手
大島ひなの（白馬村）



2024年8月発売 スーパー無双ver2.0は大島ひなの選手とともに
第30回全日本スキー選手権大会スノーボード競技
パラレルジャイアントスラローム種目で優勝しました。

スーパー無双ver2.0 フッ素レスポリエチレンコーティング
60g 8800円

<https://www.teamrescue.co.jp>



TEAM
[RESCUE]
WAX

チームレスキューワックス総代理店
アイルージャパン合同会社
420-0846静岡県静岡市葵区城東町2-11
電話：054-686-2281



2025年 フォルクルオープンマスターズスキーサーキットⅡ オープンジュニア技術選 ステージⅡ

2025年3月22日(土)～23日(日) 菅平スノーリゾート

1日目 3月22日(土) 天候：晴れ、気温6℃～12℃

昨年とは打って変わって雪がたっぷり残っており、天候は晴れて最高の春スキー日和となった。今シーズン最後のマスターズ技術選&オープンジュニア技術選とあって、最高の滑りを披露しようと300名近い老若男女のスキーヤー達が菅平高原に集結した。

今年はこの行事でもスマートフォンで二次元コードを読み込み、LINEのオープンチャットに登録するだけで、大会期間中の公式掲示板の情報(例えば、事務連絡や天候などによるコートの変更など)がタイムレスに確認できるとあって、非常に便利になった。

今年もEOCジャパン株式会社(Volkl)に特別協賛いただいての開催で、景品にも期待が掛かる。放送で、「表彰式で野菜券が当たる抽選会をするので、ゼッケンを着用の上集まってください」と案内があり、入賞者以外でも景品が貰えるとあって参加者のテンションが上がった。

下からシーハイルコースに向かって左側がAコート、右側がBコートとなっており、異なる競技種目が同時に行われる。初日の種目はAコートが大回り、Bコートが小回りで、1班と2班に分かれて大回りは1班のJr.1からスタート、小回りは2班のMs.80からスタートした。

大回りのAコートで齊藤泰英デモ、頼光一太郎デモが、小回りのBコートで小田切悠デモ、齋藤くる美デモが見事な前走を披露し、ギャラリーの歓声と共に、滑走前の選手達のイメージ作りに大いに貢献した。

2日目 3月23日(日) 天候：晴れ、気温8℃～11℃

前日の雪が一旦固まり、朝は引き続き最高のコンディション。1日目に最高の滑りができた人、課題ができた人、リベンジを望む人、それぞれの思いで2日目の朝を迎えた。

雪は十分にありますが前日に比べて朝から気温が高く、一度締まった雪も、スタートの時間前にはすでに溶け始めていて、スキー板にブレーキがかかり、バランスを崩してしまいそうなほどだった。一日中気温が高めの予報だった為、コートに融雪剤が投入された。

津村競技委員長から「最高の天気恵まれたので、自信を持って滑ってください！最高のバーンを用意したので楽しんで滑ってください！」と激励のコメントがあり2日目開幕。

2日目はAコートが総合滑降、Bコートが中回りで、総合滑降は2班のMs.80からスタート、中回りは1班のJr.1からスタートした。

総合滑降のAコートで齋藤くる美デモ、頼光一太郎デモが、中回りのBコートで齊藤泰英デモ、小田切悠デモが前日に引き続き見事な前走を披露し、大会の場を盛り上げた。

表彰式は時間通りに始まり、Jr.から各組の1位～3位が呼ばれて表彰台に上がり、笑顔でメダルと賞状、景品を受け取った。大会最高の瞬間である。今年はリザルトがLINEのオープンチャットの公式掲示板にすぐにアップされて各自のスマホで閲覧&スクリーンショットが撮れた為、掲示板前に大勢の人が群がり順番待ちして写真を撮るという必要が無くなった。昨年以上に大会の運営が非常にスマートかつスムーズで、運営側の努力が垣間見られた。

表彰後は参加者を対象に、お楽しみのじゃんけん大会が開催された。始めは金子教育本部長、次いで頼光一太郎との勝負に勝った人に、野菜券が贈られた。

ここ数年で、オープンマスターズとオープンジュニア技術選の参加者数が増えてきており、クラブ行事の一つとして参加する方や、他県連からも楽しみに参加して下さる方が増えてきている。自分の技術がどれくらいの点数で評価されるのかを知る良い機会であり、毎年この大会でライバルのスキー仲間と会えるのを楽しみにしている人、一年間でどれくらい自分の技術が上がったかを確認したい人も増えてきている。シーズン終わりにあるこの行事の雰囲気を味わいたい方は、是非来シーズン参加して欲しい。



第78回 東京都スキー連盟クラブ対抗競技会 (アルペン)

2025年2月28日(金)～3月1日(土) 菅平高原スノーリゾート

菅平ブルーの空の下、競技が行われました。

ゲレンデを楽しんで滑る分には最高のコンディションですが、選手のみなさんは、秒を競うアルペンの大会だと楽しんでばかりはいられず、遠くに見える山々を横目にポールを抜けることに集中していました。

スタート前の様子は張り詰めた緊張感が見ている私にも伝わってきます。そして、ゴールした後のやり遂げた感に満ちた笑顔が印象的でした。取材しながらビブ回収をさせていただきましたが、素敵な笑顔で渡していただき、私も元気をもらいました。

また、子供たちの参加も多く、表彰台での笑顔を見ているとこれからも滑っていける環境の保全に努めなければと、実感しました。

競いながらも楽しめる、そんなスキーの大会がこれからも続くことを願っています。



第78回東京都スポーツ大会(市区町村対抗) 冬季スキー

2025年3月1日(土)～3月2日(日) 菅平高原スノーリゾート

春スキーを思わせる好天の中、女子78名、男子264名がそれぞれのクラスで競い合った。

今年度から、「東京都スポーツ大会」に名称が代わったが、選手にとってはコンディションが気になるところ。

気合いが入りすぎて、転倒する選手もいたが、特に大きなトラブルも無く終わった。

結果は、男子が杉並区、女子が大田区が総合優勝となる。

滑り終えた選手は、一概に力を出し切って、雪焼けした晴れやかな笑顔が印象的だった。

なお、リザルトはこちらにあるので、ご確認ください。

<http://www.tokyo-sports.or.jp/untitled267.html>



The きじまスノーパーク

GREATER SNOW & TIMES



THE KIJIMA
SnowPark

きじま

〒389-2303

長野県下高井郡木島平村上木島3278-212

☎0269-82-4150 【受付時間】
8:00-18:00

<https://liyama-makinolri.snowpark.jp>

The きじまスノーパーク



詳しくは
ホームページへ

「The きじまスノーパーク」へのアクセス

- 🚗 JR飯山線「飯山駅」よりタクシー20分
- 🚗 北陸新幹線「飯山駅」よりタクシー20分
- 🚗 上信越自動車道「豊田飯山IC」より約20分

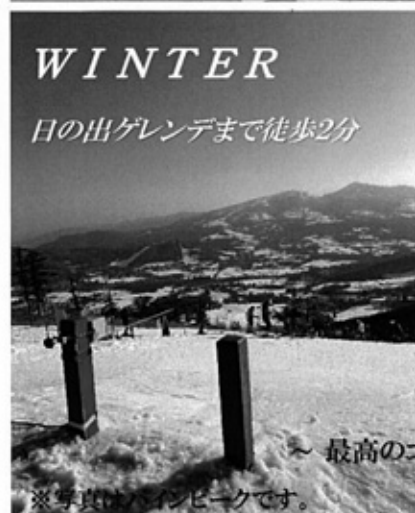




宿泊予約好評受付中!



～ さわやかな涼しい菅平高原で
弓道を楽しみませんか? ～



WINTER

日の出ゲレンデまで徒歩2分

自社農園で採れた四季折々の
野菜を使った料理が自慢です

～ 最高のコンディションで
スキーを楽しみませんか? ～

※写真はイメージです。

ロッチいざよい

〒386-2204

長野県上田市菅平高原1223-173

TEL0268-74-2048

✉ info@l-izayoi.com

ロッチいざよい

Facebook

Instagram 見てください♪



第49回 黒姫高原ジュニアスキー大会 (クロスカントリー・フリー競技)

2024年12月29日(日) 黒姫高原童話の森スノーウェーブ

(一財)東京都スキー連盟主催により、黒姫高原童話の森スノーウェーブで開催されたクロスカントリージュニアスキー大会は、男子8名、女子3名で開催され、ジュニア雪上強化練習会に引き続き行われました。東京都スキー連盟だけの開催、ジュニア選手だけなので、小規模の大会であるが練習の成果を試す意味で、それぞれの成果が発揮できたと感じられた大会でした。今後の、ジュニア選手強化に向けて大事な行事であり、国民スポーツ大会に向けて経験を積む意味でも必要な行事と言えます。

ただし、昨年は男子11名、女子7名合計18名で行われる等、参加する選手の減少、参加校の減少(現2年生が卒業すると東京都でクラブがあるのは1校だけになってしまう。)等々の解決しなければならない課題がありますが、クロスカントリースキーの発展を目指して頑張って行かなければならないと思います。



＼指導員/準指導員受検対策も好評!／



パノラマスノーアカデミースキースクール

☎ 0266-62-8610

FAX:0266-75-2753 E-mail:info@psa-ski.com

富士見パノラマリゾート内 長野県諏訪郡富士見町富士見 6666-703

詳しくは WEB で検索⇒ パノラマスノーアカデミースキースクール 検索 www.psa-ski.com

Panorama Snow Academy



2025 年度 都連を語る会

2025 年 4 月 19 日 (土) ホテルメトロポリタンエドモンド (飯田橋)

近年まで秋に行われていた都連を語る会は前は夏 (2023 年 7 月) に、今回は春に行われました。出席者数は来賓 28 名、役員・スタッフを含め総勢 48 名でした。

午後 2 時 30 分より受付が始まり、会は 3 時より栗飯原総務理事の司会で開始されました。

達下会長のご挨拶、元会長の杉崎様より祝詞をいただき、続いて本橋専務理事から会に出席された理事の紹介があった後、前会長の和田様より乾杯のご発声をいただき、懇親会がスタートいたしました。

懇親会の中間には、ご協賛いただいている株式会社キクカワの本部正孝様よりご祝辞およびご挨拶をいただきました。

冒頭、杉崎様のご祝辞のなかで、参加人数について例年に比べ「少ないのではないか」とのお言葉をいただきました。役員、スタッフ一同、参加人数の改善について対策・対応が必要ではないかと緊張する一瞬もございました。

懇親会は、和気あいあいのうちに進められ 4 時 50 分、岡田副会長からの閉会挨拶をもって会はお開きとなりました。

その後、栗飯原理事より集合写真撮影の案内があり「一同でパチリ」、予定通り午後 5 時ちょうどに終了し解散となりました。



NO.33 NTT 東京スキー部

皆様こんにちは。「NTT 東京スキー部」です。当クラブの登録 No. は「0033」。現在都連には 800 弱のクラブがある中、33 番目という古参クラブです（1956.12 都連へ加盟）。部員数は 15 名程で、ホームゲレンデは「菅平高原」。競技を中心に基礎にも取り組んでいます。（全員が正指・準指取得済）主な活動は、競技においては、ポール合宿、都連公



認大会への出場。基礎では、指導者研修会（毎年）、検定員クリニック（隔年）への参加、スクール開催（毎年）等です。

目下の課題（悩み）としては、菅平のポールバーン（カモシカ等）が今年から「有料」（結構なお値段）になって財政危機！／新人の加入がなく平均年齢が右肩上がりで歯止めが利かない。メインで活動する

メンバーは 50 代～ 70 代です！
／スキースクールへの参加者集めに四苦八苦。等々です。

引き続き、各種大会での入賞、研修会等を通じての技術のアップデートを目標に「マジメ」にスキーに取り組んでいきます。

以上、簡単ですが当クラブの紹介でした。

最後に、来シーズンの降雪と、皆様には怪我のないシーズンとなりますよう祈念申し上げます。

NO.35 クリスタルスキークラブ

クリスタルスキークラブは 1955 年（昭和 30 年 10 月）、新宿西口駅前（現在の小田急ハルク辺り）で営まれていた「福井運動具店」にお客さんとして集っていたスキー愛好者により発足しました。おかげさまで今年、創立 70 周年を迎えました。

名前の由来は「水晶と雪の結晶」どちらも形状は六角形、雪の美しさと水晶の硬さをヒントに、仲間同士の硬い結束に例えられる事から命名されました。

現在 85 名程の会員が在籍しています。首都圏を中心に全国に在住の幼児から年配者まで老若男女の会員が所属しており、それぞれがスノースポーツを通じて日々健康に過ごせるよう活動しています。

年 4 回のクラ

ブ公式雪上行事を軸に大会挑戦、検定会挑戦、有志行事等の活動を年中実施しております。

生涯スポーツとしてスキーをされる方、初めてやってみたいと思う方、もっともっと上達したいと思う方。老若男女問いません是非参加してみませんか、ビジター参加の方大歓迎です。

クリスタルスキークラブホームページ

<https://sites.google.com/view/cschomepage/home>



NO.36 志賀高原スキークラブ

都連団体ナンバー36の志賀高原スキークラブと申します。

当クラブは1955年設立の歴史あるクラブです。

志賀高原法坂（現・サンバレー）「アルペン山荘」のスキー学校生徒を中心に発足したのがクラブ名の由来です。山荘のオーナー兼校長は初代会長の岡沢吉夫先生でした。

常設のスキー学校がまだ少ない時代、「志賀高原のアルペン山荘に行けばスキーを教えてもらえる。」と多くのスキーヤーが集まり、賑わったと聞きます。当時のチーフコーチはデモンストレーター1期生の渡辺茂先生で、「鬼コーチ」として多くのスキーヤーを指導し、その中から本間尚さん、阿部達夫さんという名デモンストレーターも輩出しました。

そんな強力なクラブでしたが、クラブ員の構成が3級<2級<1級<正指・準指という逆ピラミッド型で、当時からクラブ内で心配の声がありました。その為か、スキー界を取り巻くその後の状況のせいか、昨今は会員の減少と高齢化に悩んでおります。

スキーはスポーツの中で個人競技ではありますが、

冷たい雪の大自然の中で苦楽を共にする仲間は、技術向上のため又安全のために大切で、その面ではチームスポーツと言えます。少ないメンバーでも互いを尊重し元気に生涯スポーツであるスキーを楽しんでいきたいと思っています。

シー・ハイル！！



NO.39 スカブラクラブ

スカブラクラブの源流は、文部省主催の冬期大学体育研究集会です。研究集会の参加者が立ち上げた「大学スキー研究会」（略称 DSK）は、全国的な組織でしたので、明治大学の佐藤隆教授を責任者として東京在住の会員約30名が「東京 DSK」として1957年4月1日に都連に加盟しました。4年後、「東京 DSK」から現在の「スカブラクラブ」に改称しました。

その後、白馬、フェロー、スガが、それぞれの大学組

織でまとまって独立していかれました。会員数が300名を超える時もありましたが、現在の会員数は、154名。全日本スキー連盟の公認指導員及び準指導員は53名在籍し、2025年度シーズンのクラブ行事は6会場で開催、会員管理のSNS上には雪上の様子と、室内の楽しさいっぱい笑顔が見られます。

振り返りますと、SAJの理事・デモ・専門委員・ブロック技術員、SATの理事・評議員・デモを送り出すなど

スキー連盟と深く関わってきた歴史があります。

現在は、大学教員の人数も減少し会員の職業も多様化しましたが、創設期からの「技術の研究と練習を通じて親睦をはかる」という思いを大切に、雪上での活動を中心に行って行きたいと思っています。



NO.41 ホワイト・ベア・クラブ

ホワイト・ベア・クラブは1957年に設立した2027年には70周年を迎える歴史あるクラブです。



クラブ会員は約60名、20代から80代まで幅広い年代で構成され、基礎スキー、競技、BC、テレマーク等、色々な形で雪山を楽しんでいます。

主な活動場所は菅平高原、尾瀬岩鞍、斑尾、猪苗代、ブランシュたかやま、志賀高原、丸沼高原など各地で基礎を中心にクラブツアーを開催しており、年1回バッジテストも行っております。

クラブ創設100年に向けて、新たなメンバーと共に雪山を楽しみながらクラブの発展を図っていければと考えております。

<https://whitebear1957.jp/>

NO.43 ジーゲル・グルッペ

我らが「ジーゲル・グルッペ」を紹介させていただきます。クラブ名はドイツ語で「勝利者の集まり」、東京都スキー連盟のクラブ番号43で1958年設立になります。

老若男女を問わずスキーに情熱をもち、クラブ内の交流を通じお互いに切磋琢磨するメンバーが集うアットホームなクラブチームです。

クラブ員は約30名で、今シーズンはあらたに若手2名が準指導員に合格し、準指導員・正指導員は総勢15名、専門員も輩出しており、検定員もA・B・C級検定員がそろっています。来シーズン以降も準指導員にチャレンジするメンバーが続く予定で、各々目標をもって活発に活動しています。

主な活動として、クラブ主催のスクールを1月と2月に行い、バッジテストも実施しています。クラブ合宿もハイシーズンからコブシーズン

ンまでレジャー含め複数回実施しています。またスキー以外も毎月月例会を行い、コミュニケーションを密にとっています。昨年の夏は、高尾山に登って山で楽しく懇親会を行いました（写真はこちらになります）。

もし、皆さんと一緒に滑る機会がありましたら、是非一緒に滑りましょう！

シーハイル（^^）/

